

情報モラル教育を 成功させる

広教ニュースレター

Vol.10

広教 2011.5
HIROKYO 広島県教育関係者連絡会

<http://www.hirokyou.co.jp>

ためには！

深緑の茶畑が丘を彩る、静岡県菊川市。自然豊かなこの市では、情報モラル教育に熱心に取り組んでいます。昨年3月には市立小・中学校全校に情報モラル教育ソフト『事例で学ぶNetモラル』を導入し、市独自のモデルカリキュラムも策定するなど、その精力的な活動は周辺の市町村でも注目されています。



菊川市教育委員会 指導主事
石山哲也 先生



菊川市教育委員会 教育長
石原潔 先生

『事例で学ぶNetモラル』 導入の理由とは？

「菊川市は、児童生徒の携帯電話所持率が全国平均より遙かに低く、幸いネットがらみの事件も起きていません。問題の起こっていない今こそが、情報モラル教育の絶好の機会。事件が起きてからでは遅いのです」と、石原教育長は情報モラル教育に力を注ぐ理由を話してくれた。

「授業を変える」「子どもの力をつける」ため、教育委員会ではまず全小・中学校に校内LANを整備し、全教室に50インチの大型テレビを導入しました。環境が整ったところで、次に我々が検討したのは情報モラル教育です。これからの情報社会を生きる子どもたちには、安全に安心して情報機器を活用できる力を身に付けさせることが最も重要だと考えたからです。そこで菊川市では、すべての先生がすぐに指導できる情報モラル教材を全校に導入したのです」

情報モラル教材の選定にあたっては、多くの製品を比較検討したという。その結果、『事例で学ぶNetモラル』が導入されたのだが、決め手は何だったのだろうか。

「第一に、教師が取り組みやすい点評価しました。情報モラル教育は新しい教育であり、今、情報社会で起きている問題はきわめて複雑です。また誰もが情報モラルについて詳しい知識を持っているわけはありません。そこで、すべての教師に負担なく均質な授業をしてもらうためには、指導案、板書例、ワークシートなど指導資料が充実していることが重要だと考えました。また、新学習指導要領では、道徳の授業でも情報モラル教育が指導すべき内容となりましたが、道徳でどのような授業をすればよいかイメージできない教師も多くいます。しかし、『事例で学ぶNetモラル』には、道徳用読み物教材があるので、今まで通りの授業でいいんだ、と安心して取り組みます。その上、道徳の内容項目をしつかり押さえながら、情報モラルの留意点も盛り込んでいるので、今までの道徳の授業スタイルを変えることなく、情報モラル教育ができます」と石山指導主事。

活用を促進するために モデルカリキュラムを策定

菊川市では、教材を導入するだけでなく、活用を促す「仕組み」も創り上げた。「情報モラル教育を普及させるには、乗り越えねばならない三つの課題があります。一つ目は、学校間格差の解消。一部の得意な先生だけが取り組み、詳しくな

い先生が我関せずでは、教師間・学校間で情報モラル教育の格差が生じてしまいます。

二つ目は、体系的に学ぶ難しさ。情報モラル教育は、子どもの発達段階に合わせた体系的に学んでこそ価値がある。単発の実施で終わらせないための仕組みが必要でした。

三つ目は、小・中学校の連携。連携して取り組まないと、学び残しや抜け落ちが起きてしまいます」（石原教育長）

これらの課題を解消するために、菊川市では文科省のモデルカリキュラムを基に情報モラル教育モデルカリキュラムを策定。どの学年で、どの時期に、どの教材を使って指導を行えばいいかを明示した。さらに「情報活用能力」のモデルカリキュラムも同時に策定。新学習指導要領と新教科書をチェックして育成すべき情報活用能力をリストアップし、何年生のどの教科で、どういう力を育むべきかを示した。

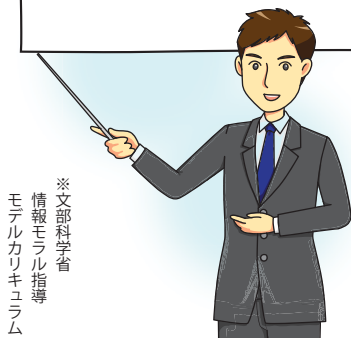
「モデルカリキュラムを示すことで全ての教師が迷わず授業を行え、小・中学校が連携して体系的に学べるようになりました。今後はこの二つのモデルカリキュラムを統合し、さらにパワーアップを図りたいですね」（石山指導主事）

市教委主導で、情報モラル教育を推進する菊川市。その思想と手法は、情報モラル教育に悩む他の自治体にとっても、良き道しるべとなるのではないだろうか。

（取材 長井寛）

菊川市

- ・情報モラル教育モデルカリキュラム
- ・情報活用能力モデルカリキュラム



※文部科学省
情報モラル指導
モデルカリキュラム

市内の全小・中学校で 『事例で学ぶNetモラル』が活躍

静岡県菊川市教育委員会

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp>

学 校

を訪ねて



昨年3月に、市立の小・中学校すべてに『事例で学ぶNetモラル』を導入した静岡県菊川市。道徳の時間や特別活動の時間や帰りの会など、様々な時間を利用した情報モラル教育が行われています。『事例で学ぶNetモラル』は、どんな場面で使えて、どのような学習効果があるのでしょうか。菊川市内の授業の様子や先生方の声をレポートします。

小学校

情報社会の特性を知る

菊川市内の小学校では、普通教室に備え付けられている地デジテレビを活用し、情報モラルの特性を理解する教育が進んでいます。子どもたちは、オープンエンドのアニメーションを見て、どうすればよかったのか、どんなところが問題だったのかをしっかりと話し合い、危険を避ける知恵や情報機器を安全に使うことができる力を身に付けています。

先生の声

- ストーリー形式なので、見せるだけで指導になる。
- 授業例や板書計画例、B4サイズのキーシーン、ワークシートなどの指導資料が豊富なので、だれでもすぐに授業ができる。
- 「個人情報を守る」「ネットいじめ」「メール依存」など、事例が多数用意されているので、実態にあった指導ができる。



(菊川市立小笠東小学校)

中学校

知識理解を深める

中学校では、帰りの会、学活、各教科などの様々な時間を利用した情報モラル教育が行われています。実態調査を基に、指導前に生徒指導担当と協力して教材や指導内容を決め、それを学校全体で共有するなど、質の高い取り組みが進んでいます。

先生の声

- 生活指導担当の先生と相談して、夏休み直前に「学校裏サイト」の事例を全学年全クラスで指導した。「誰が書き込んだか調べればわかる」「不適切な書き込みは法律で処罰される」など、押さえない内容をすべての担任が共有して指導に臨んだ。その結果、生徒の知識理解も深まり、情報モラルに対する意識が学校全体で高まった。



(菊川市立岳洋中学校)

- 一時限用の教材やショート教材など、指導の場面や時間に応じて教材を選べる。授業の中で5分間だけポイントを絞って活用したり、学活や帰りの会で使用したりと、使いたいときすぐ使える。さらに、ビデオテープでも対応できるのでどの教室でも使える。

道徳

読み物教材を使って深く考える

菊川市では、道徳の時間にも情報モラル教育を行っています。しかも、読み物資料を活用した授業は、従来からのスタイルを崩すことなく行えるので、先生方の負担もなく、すべての先生が安心して取り組むことができます。

先生の声

- 今までの道徳の授業スタイルと同じなので安心して取り組める。
- 情報モラルを背景に盛り込んだ読み物は、登場人物の心情を考え、話し合いながら、同時に情報社会における問題点を理解することができる。
- 身近な問題を取り上げている資料なので、生徒自身が受け入れやすい。
- 指導資料が揃っているので、授業イメージがつかみやすく安心して授業ができる。



静岡県菊川市立岳洋中学校
宮下敦史 先生
(平成21年度文部科学省委託事業
情報モラル教育専門員)

知識の指導

情報モラル教育

心の育成



(菊川市立岳洋中学校)

- ・危険から身を守り、責任ある情報発信をし、自分で判断し行動する力を身に付けさせるには、さまざまな場面、さまざまな視点で指導を積み重ねていくことが大事です。指導を継続することで、子どもたちは情報社会に対応できる「判断力」を少しずつ高めていくことができるのです。
- ・情報モラル教育は、心の教育と安全教育との両方が大切です。要となる心の教育を進めながら、実態にあった安全教育を行うことが重要だと思います。
- ・上記の指導と共に、保護者に対しても啓発活動が重要であると考え、学校単位で保護者向け情報モラル学習会を実施しています。

広教ニュースレター は、情報モラルや情報教育に関するニュースや授業実践、また最前線で活躍されている先生方の寄稿や対談などを掲載するニュースレターです。

広島県教科用図書販売株式会社
〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL 082-291-1088 FAX 082-291-1082
URL <http://www.hirokyou.co.jp> E-mail info-hiroshima@hirokyou.co.jp

広教
HIROKYO 広島県教科用図書販売株式会社